観点	単元	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
	1. 力学的エネルギー	・力学的エネルギー	・力学的エネルギー	・力学的エネルギー
	保存の法則	保存の法則やその成	保存の法則をおおむ	保存の法則を理解し
		立条件を理解してお	ね理解しており、い	ておらず、保存の法
		り、さまざまな運動	くらかの運動につい	則の式を立てること
		について保存の法則 の式を的確に立てる	て保存の法則の式を	ができない。
		立てることができ		
知		ことができる。	る。	
知識				
· 技 能	2. 保存力以外の力が	・保存力以外の力が	・シンプルな状況設	・シンプルな状況設
能	する仕事と力学的エ	する仕事の影響を加	定であれば、保存力	定であっても、保存
	ネルギー	味し、物体の力学的	以外の力が仕事をす	力以外の力が仕事を
		エネルギーが変化す	る場合でも,エネル	する場合のエネルギ
		る場合でも,エネル	ギーの関係式を立て	ーの関係式を立てる
		ギーの関係式を立て	ることができる。	ことができない。
		ることができる。		
	1. 力学的エネルギー	・複雑な運動であっ	・シンプルな運動で	・シンプルな運動で
	保存の法則	ても力学的エネルギ	あれば、力学的エネ	あっても,力学的エ
思考		ー保存の法則を適用	ルギー保存則を適用	ネルギー保存の法則
•		し、物体の運動を考	し、物体の運動を考	を適用することがで
判断		え、説明することが	えることができる。	きず,物体の運動を
表		できる。		考えることができな
現				Λ, o
主	2. 保存力以外の力が	・力学的エネルギー	・力学的エネルギー	・力学的エネルギー
体的	する仕事と力学的エ	保存が成り立たない	保存が成り立たない	保存が成り立たない
主体的に学習に	ネルギー	条件を判断し、これ	条件を判断し、説明	状況を理解できず、
字習		までに学習してきた	を受け関係式を立て	説明を受けても関係
に TV		内容と関連させて、	ることができる。	式を立てることがで
9		自分で関係式を立て		きない。
担む		ることができる。		
取り組む態度				

問1 自身のこれまでの授業への取り組みを5段階で評価してください。

[5 4 3 2 1]
問 2 この単元の理解度を 5 段階で評価してください。 【 5 4 3 2 1 】
問3 前回までの反省を活かして、今回の単元で「改善したこと」や、「新たに挑戦したこと」など、あなたが自分なりに工夫して対策したことがあれば、自由に記述してください。(省略可)
問4 この単元を通してあなたが習得できたことやできなかったこと、学んだことを自由に記述してください。
問5 今後の工夫と改善点を自由に記述してください。

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価ルーブリック【化学】 河原 美那子

観点	単元	優秀	良	努力が必要
知識・技能	電池	化学電池について,そ の原理を理解し,ダニ エル電池を例に酸化 還元反応によって放 電していることを理 解している。また,電 極や起電力など,電池 に関係する基礎知識 を身につけている。	化学電池について,その原理を理解し,ダニエル電池を例に酸化還元反応によって放電していることを理解している。	化学電池について, その原理を理解している。
思考・判断・表現	身近な電池	一次電池と二次電池 の違いを理解し、身近 な電池を一次電池と 二次電池に区別する ことができる。また、 鉛畜電池を例に二次 電池の工夫点や仕組 みを身につけている。	一次電池と二次電池 の違いを理解し、身近 な電池を一次電池と 二次電池に区別する ことができる。	一次電池と二次電池 の違いを理解してい る。
主体的に学習に取り組む態度	電池の実験	グループ実験において、リーダーシップを 発揮し、班をまとめる ことができる。	グループ実験において、協力的な態度で臨んでいる。	グループ実験において、十分な役割を果たせず、協力的でない。

課題

- ・生活するにあたり、身の回りのさまざまな酸化還元反応を利用していることを理解できる。
- ・電池の原理や電池内部で起こる反応が理解できる。
- ・身の回りにある実用電池について、一次電池や二次電池、また燃料電池について理解できる。

1 単元名 3章3節 酸化還元反応

(1) 単元ごとに自己評価を実施

実験において他者と協力して実施できたか、自分の意見を伝えることができたかなどを自己評価し、それぞれ5点満点で採点する。

自己評価シート(例)

◎3章 3節-4 身のまわりの酸化還元反応

○積極的に実験に取り組むことができたか	できなかった_	1	2	3	4	5	_よくできた	
○粘り強く実験に取り組むことができたか	できなかった_	1	2	3	4	5	_よくできた	
○苦手な友人のサポートなどに取り組む								
ことができたか	できなかった_	1	2	3	4	5	_よくできた	
○他者と協力して実験に取り組めたか	できなかった_	1	2	3	4	5	_よくできた	
○実験方法や結果について自分の考えを他								
者に伝えることができたか	できなかった_	1	2	3	4	5	_よくできた	
○さらに理解を深めたいことや興味をもったことなど								

(2) 単元ごとに教員が評価を実施

実験の取組についての自己評価と提出された実験レポートから、 教員が以下の表にしたがって、評価を行う。、それぞれの評価に対応した点数は、 $A50\sim40$ 点、 $B39\sim20$ 点 C が $19\sim0$ 点である。

評価	評価の視点
A	グループ実験において、リーダーシップを発揮し、班をまとめることができる。
В	グループ実験において、協力的な態度で臨んでいる。
С	グループ実験において、十分な役割を果たせず、協力的でない。

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価ルーブリック【生物】 田中 カ

観点	単元	優秀	良	努力が必要
知識・技能	個体群の成長と密度効果	個体群の成長曲線に ついて、繁殖に必要 な資源(食物や生活 空間)による環体を 空間)によって個体に の成長が頭側体に の成長が理解した。 ることを理解したり したりした場合の 長曲線についできる。	個体群の成長曲線について、繁殖に必要な資源(食物や生活空間)による環境収容力によって個体群の成長が頭打ちになることを理解している。	個体群の成長曲線について、個体群密度や環境収容力、密度効果などの基本的な重要語句を理解している。
思考・判断・表現	個体群の齢構成とその変化	生命表から、その生物が早死型・平均型・ 晩死型かどうかを判断でき、その生物が どのように子孫を作るか・親の保護がどの程度得られるのかなど、その生物の生態について考察できている。	生命表から、その生物が早死型・平均型・ 晩死型かどうかを判断でき、その生物の 特徴を簡潔に記述できている。	生命表から、その生物が早死型・平均型・ 晩死型かどうかを判断できていない。もしくは早死型・平均型・晩死型かどうかを判断できるが、その生物の特徴を記述できていない。
主体的に学習に取り組む態度	個体群の大きさの調査方法 個体群の成長と密度効果 個体群の齢構成とその変化	各項目の学習において、学びを振り返ったり、今後の学習に見通しを持って取り組んだりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている	各項目の学習において、学びを振り返り、 自らの考えを調整し ながら理解しようと している。	各項目の学習には取り組むが、自らの学びを振り返ろうとしていない。

「主体的に学習に取り組む態度」を測る評価シート【生物】

田中 力

○以下の項目について、理解度を5段階で評価してください。											
	理解度:最高 5 最低 1										
・個体の分布(ランダム分布、集中分布、一様分布)と特徴	(5	•	4	•	3	•	2	•	1)
・個体群の大きさの調査方法(区画法、標識再補法)	(5	•	4	•	3	•	2	•	1)
・個体群の成長と密度効果	(5	•	4	•	3	•	2	•	1)
・個体群の齢構成とその変化	(5		4	•	3	•	2	•	1)
○この単元を振り返り、最も印象に残っていることを自由	に記	己述し	ノて	くだ	さい	, , ,					
○この単元で理解が不十分なものがあれば具体的に記述し	てく	ださ	ž γ ν,	o							
○この単元を振り返り、今後の授業に対して工夫・改善し	たい	ことと	とを	記述	しっ	てくた	ぎさ	٥, ر ^٥			